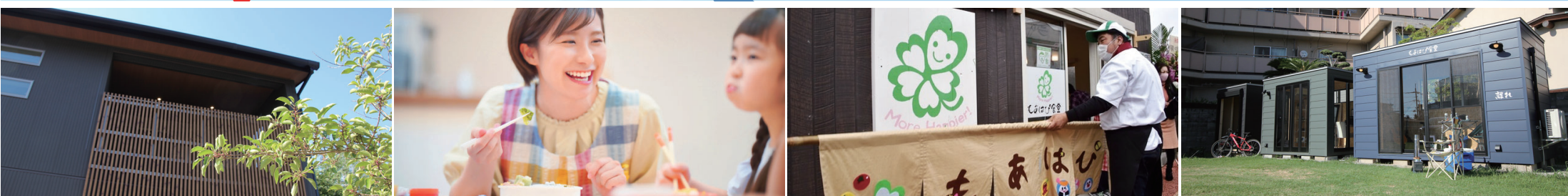


山元建設株式会社は

SDGsに 取り組んでいます

私達は SDGs を通じて、
豊かな暮らしを提案します。

山元建設は、世界の SDGs(持続可能な開発目標)実現に貢献し、
社会課題の解決に取り組むことで、
日本の住まいや暮らしを
より一層豊かなものにしたいと考えています。



SDGs(持続可能な開発目標) とは

SDGs(エス・ディー・ジーズ) とは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2015 年 9 月「国連持続可能な開発サミット」にて採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載されている 2016 年から 2030 年までの国際目標です。貧困に終止符を打ち、地球を保護し、全ての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指し、「世界を変えるための 17 の目標」が掲げられ、「地球上の誰一人として取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。山元建設では、SDGs の持続的な社会の実現に取り組んでいます。



未来の子どもたちのために 地球環境を守る家づくりを行います

現在気候変動により地球環境が悪化しています。2050 年まで世界人口が増え続けた場合、今と変わらない生活を送るためには、ほぼ 3 つの惑星が必要になると言われています。このままでは、未来の子どもたちが安心して住むことのできる地球ではなくなってしまいます。そこで山元建設では、室内の温度を外に逃げにくくした高気密・高断熱の家や、ZEH や HEAT20 G2 基準をクリアした高性能住宅など、家庭におけるエネルギーの消費量を減らすことができる家づくりを行っています。ZEH 住宅の普及を行うことで住宅の寿命も延ばすことができるので建築においてもお客様の生活においても Co2 の排出を減らし、また断熱材に新聞紙をリサイクルした「セルロースファイバー」を使用することで、ほかの断熱材と比較して多機能であると同時に、生産段階で使用するエネルギーを抑えることができます。





高性能住宅で、日常でも災害時でも健康・快適・安心な家

高気密・高断熱にすることで部屋間の温度差をなくし、ヒートショック事故を減少させ、停電や災害で冷暖房機器が使えなくなってしまった時も、高い保温性能で快適に過ごすことができます。さらに太陽光発電により、電気の自給自足が可能です。また、耐震や制振にも力を入れ、地震大国である日本において、家に居ることで安心感を得られる住宅をご提供しています。山元建設は、日常においても災害時においても心身共にストレスを無くし、毎日楽しく過ごすことができる健康・快適で安心・安全な家づくりを行います。

長寿命な住宅で人にも地球にもやさしい家づくりを行います

長く住み続けられる家をご提供することで、家庭への経済的負担を減らすことができます。また住宅寿命も延ばすことで、建築時に発生する Co2 の排出を減らすことができるだけでなく有限な資源の浪費抑制、森林保持、環境保全にもつながります。長寿命の家が増えることで家庭の、地域の、日本の、世界の暮らしが豊かになっていくよう、人にも地球にもやさしい家づくりを実現します。



低コストコンテナルームで自分らしい働き方をサポート

新型コロナウイルスの影響もあり、在宅勤務やノマドワーカー、副業を許可する企業の増加など働き方は多様化しています。山元建設では、そのような社会情勢の変化に対応可能なコンテナルームを開発。店舗やオフィス、介護ルームなどとして使用でき、低コスト・低リスクで新しい働き方に挑戦することができます。また、コンテナルームを活用したチャレンジショップなど新しい働き方を支援する活動も行っています。

子ども食堂で心も身体も健やかに 食の繋がりで地域で子どもを見守る町に

山元建設では、旧社屋を利用して子ども食堂を運営しています。一見豊かに見える日本ですが、子どもの7人に一人、ひとり親世帯においては2人に1人が貧困に苦しんでいます。貧困がおよぼす影響として「学習意欲が低い」「自己肯定感が低い」などが挙げられます。当子ども食堂では、子どもたちが夢をもって生きていけるようサポートしています。また栄養バランスのとれた食事が摂れるだけでなく、勉強をするスペースも設けるなど、食事をする子ども達と、食材を提供してくれている方や勉強を見てくれる上級生、その他ボランティアの方たちを繋ぐことで、子ども達の変化に気づける環境づくりを行っています。



これからも SDGs に取り組んでいきます

SDGs は地球の皆で協力しなければ達成することはできません。私達はこれからも、家を建てるお施主様や協力会社だけでなく、子ども食堂やコンテナルーム事業など、関わるすべての人たちとパートナーシップを結び、また地域のコミュニティーで SDGs 達成に向けたアクションを働きかけ、活動への参加など目標達成に向かい積極的に努めていきます。また、SDGs という枠組みにとらわれず、震災時の炊き出しや子ども食堂、猫保護コンテナの寄贈など、助け合いの心をもって、これからも様々な活動に取り組んで参りたいと思います。